

AKOME 阿古女通信

2018. 11. 22 No. 207

社会福祉法人 福岡市手をつなぐ育成会
障がい福祉サービス事業所

ひまわり園

TEL (092) 882-0432
FAX (092) 885-3860

〒819-0006

福岡市西区姪浜駅南4丁目10番13号

Email en@fiku.jp



大掃除

ひまわり園では、年間計画で「掃除の日」を月に一回、第二水曜日(行事に合わせ変更有)に実施しています。

九月十二日(水)は二階生活介護作業室を中心に廊下や回廊の床や窓ガラスを清掃しました。パン班、製菓班はパン室、製菓室はもちろん食堂や和室の清掃に加え、窓ガラスやサッシなど時間をかけて綺麗に清掃しました。

また天気が良ければ、毎月掃除の日に地域清掃にも出掛け、地域住民の方々と交流をしながらゴミ拾いも実施しています。

掃除の日は、普段の掃除でなかなかできない場所を重点的に取り組んでいます。このようなきめ細やかな清掃活動で、ひまわり園はいつも清潔で美しく保たれています。

田中 泰之



福岡市障がい者スポーツ大会

平成三十年九月二十四日(月祝)九時半から十五時二十分小雨決行にて東平尾公園にある博多の森陸上競技場にて行われました。

競技内容は・陸上競技・フライングディスク・レクリエーションの中から選択し、ひまわり園からはフライングディスクとレクリエーションに出場しています。

フライングディスクには二種類の競技があり、アキユラシー(十投し、輪の中に何回入ったかの正確性を競う競技)とディスクダンス(三投し、どれだけ遠くに投げられるかの飛距離を競う競技)があります。

スポーツ大会一ヶ月前から、フライングディスクの練習を昼休みを使い行いました。

結果、午前のアキユラシー競技ではメダルを取る事は出来ませんでした。午後のディスクダンス競技では銀メダル一人と銅メダル三人獲得する事が出来ました。レクリエーションでは・玉を使ったゲーム・物干しゲーム・じゃんけん列車など全員参加型のゲームを行いました。

出場後に参加してどうだったかを聞くと、「楽しかったから来年も参加したい」「来年も参加してメダルを取りたい」などの声を聞きました。

山中 慎也



避難訓練

六月二十六日、十四時三十分製菓室から火の想定で行いました。

今回は非常時の館内放送を行わず、園庭から職員が「火事です。」と各作業棟の方達に聞こえるよう、叫んで火事を知らせて行いました。混雑、混乱を防ぐため、パン班の利用者が作業室から避難したのを確認し、生活介護班の利用者へ避難を促しました。

なかには非常ベルの音に驚き、泣いたり、立ち止まったり、座り込む利用者もいました。避難が遅れている利用者には複数の職員で対応しました。避難場所を整列、点呼が終わった時間は四分四十五秒でした。避難訓練後、多くの反省点が出てきました。次回に活かす事が出来ればと職員間で検討しました。



また、職員内で実施した訓練は十七時四十五分から十八時十五分まで行いました。水消火器による消火訓練では、新任職員四名が中庭で水消火器を一名ずつ使用して訓練を行いました。実物の消火器は使用していませんが、消火器使用の手順を理解し、学ぶことが出来ました。

水田 光司

本人の声を聴く会

七月二十八日(土)、ふくプラザで「本人の声を聴く会」が行われ、園からは発表者一名、準備委員一名が参加しました。

今年度は「わたし ぼくのゆめ」をテーマに開催されました。

発表者は、「ダンスを頑張りたい。」「スペシャルオリピックで金メダルを取りたい。」「ひまわり園の作業をもっと頑張りたい。」「と、自分の夢を元気よく発表していました。準備委員は、今年度は総合司会として、初めてとは思えないほど司会進行を堂々と勤めていました。一名とも終わった後は笑顔を見せ「来年もまたやりたい」と話されていました。

水田 陽梨

